

別紙記載要領

別紙1（特定施設の構造）の記載について

項目	記載方法
(1)工場又は事業場における施設番号	当該工場又は事業場内の全施設のうちから当該特定施設を特定するため、当該工場又は事業場において用いている番号、例：名称 第〇〇工場〇〇工程
(2)特定施設番号及び名称	水質汚濁防止法施行令(昭和46年政令第188号)別表第1及びダイオキシン類対策特別措置法施行令(平成11年政令第433号)別表第2に掲げる当該特定施設のうち、該当する施設番号及びその名称を記載すること。
(3)型式	施設につけられた一般的な型式呼称を記載すること。
(4)構造	例：〇〇社製〇〇型 全自動 鋼鉄製・鋳鉄製・コンクリート製・塩ビ製等本体の主要構造の種類を記入する。
(5)主要寸法	例：鋳鉄製・塩ビ被膜 内径、巾、長さ、深さ等についてメートル単位等で記載すること。 例：タテ ×ヨコ ×高さ 〇〇m×〇〇m×〇〇m
(6)能力	当該施設の能力について記載すること。 例：〇〇kg／日
(7)配置	同一型式の設置台数を記入する。 例：一基
(8)その他参考となるべき事項	当該工場又は事業場、若しくは当該特定施設の担当者、主要製品名等の事業場における基本的な情報等を記載。

別紙2（特定施設の使用の方法）の記載について

項目	記載方法
(1)設置場所	特定施設の場所を記載（事業所内における特定施設の設置場所を別図面により表わすこと）
(2)操業の系統	特定施設を含む操業の系統（原料から製品になるまでの工程）を記載（別図面により表わすこと）
(3)使用時間間隔	「断続」又は「連続」のいずれかを記載し、使用時刻も記載する 例：連続1日3回・〇時～〇時

別紙2（特定施設の使用の方法）の記載について

項目	記載方法
(4)1日当りの使用時間	1日当りの使用回数、使用時間を記載
(5)使用の季節的変動	例：1日4回、4時間
(6)原材料(消耗資材を含む。)	「変動あり」又は「変動なし」のいずれかを記載し、ある場合は、季節的な変動時間等を記載
の種類、使用方法及び1日当	例：11月～3月 3時間/日 4月～9月 6時間/日
たりの使用量	特定施設を含む作業工程において使用する原材料(消耗資材を含む。)
(7)汚水等の汚染状態	種類、使用方法及び1日当りの使用量について記載
(8)汚水等の量	<p>※ 特に有害物質に係るものについては、できるだけ詳細に記載すること(有害物質一下水の排除の制限に係る水質の基準参照)</p>
(9)その他参考となるべき事項	<p>例：六価クロム：電気メッキ ○○kg/日 テトラクロロエチレン：洗浄 ○○kg/日</p>
(10)その他参考となるべき事項	<p>特定施設の使用時において当該特定施設から排出される汚水又は廃液(以下「汚水等」という。)の汚染状態について記載すること。</p>
(11)その他参考となるべき事項	<p>項目については、「温度、pH、BOD、SS」については必ず記載し、業種等により関係する項目を下水の排除の制限に係る水質の基準より選び記載すること。</p>
(12)その他参考となるべき事項	<p>当該特定施設から排出される汚水等の量を記載</p>
(13)その他参考となるべき事項	<p>当該特定施設以外の施設及び工程等で有害物質を使用している場合は、その物質名や使用量を記載する</p>

別紙3（汚水等の処理の方法）の記載について

項目	記載方法
(1)処理施設の設置場所	処理施設の場所を記載（事業所内における処理施設の設置場所を別図面により表わすこと）
(2)種類及び型式	生物処理、スクリーン、グリストラップ等
(3)能力	処理水量○m <sup>3</sup> /日等記載
(4)処理の方式	中和、凝集沈殿、酸化還元、油水分離等
(5)処理の系統	<p>処理工程に従い、フローシート、使用薬品、水量等を記載(図面により記載する)</p>
(6)その他参考となるべき事項	<p>例：中和→凝集沈殿→下水道へ排除</p>

別紙3（汚水等の処理の方法）の記載について

項目	記載方法
(6)集水及び導水の方法	汚水等の集水及び処理施設までの導水の方法について記載（別図面で記すこと）
(7)1日当りの使用時間	1日当りの使用回数、使用時間を記載 例：1日4回、4時間
(8)使用の季節的変動	「変動あり」又は「変動なし」のいずれかを記載し、ある場合は、季節的な変動時間等を記載 例：11月～3月 3時間/日 4月～9月 6時間/日
(9)消耗資材の1日当たりの用途別使用量	処理施設の用途別に使用量を記載 例：中和 水酸化ナトリウム ○kg/日
(10)汚水等の汚染状態及び量	汚水等の処理施設使用時における処理施設による処理前及び処理後の汚水等の汚染状態の通常値及び最大の値を記載。 項目については、「温度、pH、BOD、SS」については必ず記載し、業種等により関係する項目を下水の排除の制限に係る水質の基準より選び記載すること。
(11)残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法	処理によって生じる残さの種類及び1月間の種類別生成量並びにその処理方法の概要について記載すること。
(12)排出水の排出方法	処理水の排除方法、排除場所を記載する（別図面で記すこと） 建物配置図、汚水処理の系統図に対応すること。
(13)その他参考となるべき事項	残さを処理業者に委託する場合は、委託先処理業者名を記載すること。

別紙4（下水の量及び水質）の記載について

項目	記載方法
(1)排出水の汚染状態及び排出水の量	排出水の汚染状態の通常値及び最大の値を記載。 項目については、「温度、pH、BOD、SS」については必ず記載し、業種等により関係する項目を下水の排除の制限に係る水質の基準より選び記載すること。

別紙5（用水及び排水の系統）の記載について

項 目	記 載 方 法
(1)用水及び排水の系統	当該事業場における用水及び排水の系統について図示すること
(2)用途	用水の使用用途（ボイラー用水、原料用水、洗浄水、冷却水等）を記載する。
(3)使用水	用水の種類（上水道、工場用水、地下水、河川水、海水等）を記載すること。